

生活再建・地域社会の再建こそ復興の土台です。

一日も早く、心通う連帯の輪が広がり、生活がよみがえるよう日本共産党は全国のネットワークを活かし、がんばっています。

寄せられた募金はただちに現地の自治体へ届け、現地の方からよろこばれています。

新県立中央病院 移転問題

日本共産党県議団は、中央病院移転に最初から反対してきました。主な理由として、第1に、療養の場として工業地域が不適切だということ。また、周辺環境が療養に適切でないこと。第2に、周辺整備、特に交通アクセスなどの問題の面から不安があるからです。特に、移転先は埋め立て地であり、今後起こるであろう南海大地震の液状化被害が想定されています。

県議団はこの問題について、6月議会でも引き続き取り上げていきます。

白川よう子県議が宮城県石巻市・女川町に震災復興ボランティアに行ってきました！

5月9日～12日、震災復興ボランティアへ行ってきました。宮城県石巻市にある日本共産党震災対策センターまでの長い道のりには、筆舌に尽くしがたい光景が広がっていました。

日本共産党の東部地区委員会は地震で倒壊し、すぐ近くに事務所を借りて震災対策センターを作っています。ここを拠点として全国から様々な物資が寄せられ、ボランティアが集まってきました。

私たちがいる間だけでも長野市の市議団や東京杉並区議団など続々と老若男女問わず、たくさんのボランティアの皆さんが来られました。

私は全国から寄せられた生鮮野菜の物資を1家庭ずつに配れるよう小分けにし、仮設住宅へお届けしました。持って行ったイチゴやハウレンソウもとても喜んでいただけました。

仮設住宅は全く足りておらず、女川でも千数百人の避難住民に対して50戸しか完成していません。

センターでも寝泊まりができるのですが、ちょうど駅前の旅館が営業を再開し、泊まれるようになったのでそちらで宿をかまえました。駅前も津波が押し寄せ、甚大な被害状況でしたが、徐々にお店も再開しつつあります。

「来てくれたことが本当にうれしい」と言っただき、支援に行ったはずの私たちの方が、現地の皆さんの頑張りに励まされ元気をいただきました。

(白川よう子)

日本共産党香川県代表団も、18日、福島県南相馬地区へボランティア部隊として出発しました。

かし昭二県議もボランティアに登録し、福島県南相馬地区へ行く予定です。

引き続き、救援募金へのご協力をお願いします。

日本共産党香川県委員会は、東日本大震災で救援募金を受け付けています。

募金の送付先は、次のとおりです。 ●寄せられた募金は被災地にお届けしています。

郵便口座 01660-1-45763 名義 日本共産党香川県委員会

郵便振替用紙の通信欄に「地震救援募金」と明記して、上記の口座に送金してください。手数料はご負担をお願いします。



